

科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
プログラミング言語Ⅱ Programming Language Ⅱ		1年	後期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
2単位	講義	選択	(上級情報処理士必修)	プログラミング言語Ⅰを必ず履修しておくこと。
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
なし				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
なし				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー		電話番号・メールアドレス
小林大輔	講義棟 1F	火曜～金曜 (授業、会議時間以外)		授業中に指示します
授業の概要				
プログラミング言語Ⅰで学んだJavaを用いて、様々な機能を使用したプログラムを作成し、Android端末で実行する。				
授業の目標				
①Androidアプリの開発環境を利用することができるようにする。 ②アクティビティ、インテント等、Androidの機能を利用することができるようにする。 ③アプリを作成し、エミュレータで実行することができるようにする				
授業の方法				
講義を中心とし、理解を助けるための演習、課題を適宜用いる。				
学習の成果 (学習成果)				
Androidアプリを作成しエミュレータおよび端末で動作させることができる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	ガイダンス Androidの概要			
第2回目	プログラミングの基礎知識			
第3回目	エミュレータ、実機での実行方法			
第4回目	配列 1			
第5回目	配列 2			
第6回目	メソッド 1			

第7回目	メソッド 2		
第8回目	メソッド 3		
第9回目	クラス 1		
第10回目	クラス 2		
第11回目	クラス 3		
第12回目	Androidサンプルアプリの実行		
第13回目	Androidサンプルアプリの作成 1		
第14回目	Androidサンプルアプリの作成 2		
第15回目	Androidアプリの作成 まとめ		
成績評価の方法と基準			
	評価の領域	割合	評価の基準
授業参加態度			加点はしないが、受講態度が著しく悪い場合は減点し、場合によっては退室してもらう。
レポート		100%	課題のプログラムが動作するかで判断し、採点基準は「正常に動作する (100～80)、若干の修正によって動作する (79～70)、大幅な修正が必要 (69～60)、未完成 (60点未満)」である。
調査報告書			
小テスト			
試験			
発表内容 (態度含む)			
その他			無断欠席は1回につき5点減点する。理由のない遅刻2回で1回の無断欠席として減点する
教科書と参考図書			
教科書は使用せず、必要に応じてプリントを配布する。 参考書：「明解Java 入門編」(柴田望洋)、「Androidプログラミングレシピ」(D. Smith, J. Friesen 著 吉田邦夫 訳)、「作ればわかる! Androidプログラミング」(金宏和貴)			
履修上の留意点・ルール			
演習中の私語や、演習以外のPCの利用は慎むこと。			